

パナマ概況

ジェットロ海外調査部米州課(2021年7月1日更新)

一般的事項	政治動向	二国間関係																																																																																	
<p>国名: パナマ共和国 República de Panamá 面積: 7万5,517平方キロメートル (北海道よりやや小さい、出所: 日本外務省) 人口: 416万人〔2018年、出所: 国家統計センサス局(INEC)〕 首都: パナマシティ 人口178万人(2018年、出所: 国連推計) 民族: 混血70%、先住民7% 他(推定値、出所: 日本国外務省) 公用語: スペイン語 宗教: カトリック(出所: 同上)</p>	<p>① 1980年代まで軍事政権が続いたが、1989年の米国によるパナマ侵攻と、ノリエガ將軍逮捕後のエンダラ政権発足により民主主義政治が復活。 ② 1999年12月31日、モスコソ政権時に米国からパナマ政府へパナマ運河が完全返還される。 ③ 2003年パナマ建国100年、2004年日パナマ外交樹立100周年、2007年9月運河拡張工事着工。 ④ 2014年7月パナメニスタ党・パレーラ大統領就任。同年パナマ運河開通100周年。 ⑤ 2017年6月台湾との断交と中国との国交樹立を宣言。 ⑥ 2019年5月の総選挙で中道・民主革命党(PRD)コルティソ候補が勝利、7月大統領就任。PRDは議会第1党となり2009年のトリホス政権以来のねじれ議会が解消された。公共調達法と官民連携法の改正案をもとにインフラ投資を中心とした国際入札ルールの透明化や、民間資本を活用した財政支出額の削減を図る。</p>	<p>貿易額: (単位: 100万円)</p>																																																																																	
<p>基礎的経済指標</p> <p>名目GDP(推定値): 529億万ドル(2020年、出所: INEC) 1人当たり名目GDP: 1万2,373ドル(2020年、出所: 同上) 輸出: 15億ドル(FOB、2019年、出所: 同上) 主要輸出相手国: 米国、オランダ、中国(2018年、出所: 日本国外務省) 主要輸出品目: バナナ、エビ等魚介類、金属くず(2018年、出所: 同上) 輸入: 128億ドル(CIF、2019年、出所: INEC) 主要輸入相手国: 米国、中国、メキシコ(2018年、出所: 日本国外務省) 主要輸入品目: ガソリン等燃料類、自動車、医薬品(2018年、出所: 同上) 外貨準備高: 103億6,274万ドル(2021年初時点、CEIC) 外国直接投資受入額(ネット・フロー): 5億8,870万ドル(2020年、出所: INEC) 対外債務残高: 277億650万ドル(2020年末、出所: 同上) 通貨単位: バルボア(PAB) 対ドル為替レート: 1.00 バルボア</p>	<p>経済動向</p> <p>① パナマは、中南米諸国の中でも1人当たりGDPが高い。実質GDP成長率の高さも目立ち、パレーラ政権(2015~18年)の平均成長率は4.7%。2018年は第三次産業がGDPの約7割を占めた。特に建設業、卸売業・小売業、運輸・倉庫・通信だけで約5割となった。 ② パナマは製造業などの輸出産業が乏しいため、輸出の多くがコーヒーやパイナップル等の一次産品。そのため常に貿易赤字となっており、経常収支に影響を与えている。他方、コロソ・フリーゾーンからの再輸出はパナマの歳入に重要な役割を果たしている。同ゾーンは1948年に設置され、アジアで製造された消費財を一時輸入し、中米・カリブに再輸出する拠点。2018年の中南米におけるコンテナ取扱量で首位。太平洋側のパナマ・パシフィック港と合わせると、中南米のコンテナ積み替え量の4割を占める。 ③ パナマは通貨バルボアを持つが、1904年以降、米FRBの信任のもとに完全にドル化されており、中央銀行を持たない。そのため1ドル以上の通貨発行はできず、金融政策も行われぬ。また赤字国債の引き受けや、民間銀行への「最後の貸し手」が存在しない。 ④ 通貨がドルであり、送金規制や融資規制がほぼないため、金融センターとしての役割が大きい。またグローバルな大企業を中心として地域統括拠点や、タックスヘイブン地として活用されている。 ⑤ 2016年6月パナマ運河拡張工事が終了。LNGやLPGコンテナ船が多いネオパナマックス級の船舶の通航が可能になった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> <th>収支</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>653,363</td> <td>50,966</td> <td>602,397</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>664,684</td> <td>14,718</td> <td>649,966</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>491,850</td> <td>51,831</td> <td>440,019</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所: 財務省貿易統計よりジェットロ作成</p>					日本の輸出	日本の輸入	収支	2018年	653,363	50,966	602,397	2019年	664,684	14,718	649,966	2020年	491,850	51,831	440,019																																																														
	日本の輸出	日本の輸入	収支																																																																																
2018年	653,363	50,966	602,397																																																																																
2019年	664,684	14,718	649,966																																																																																
2020年	491,850	51,831	440,019																																																																																
<p>政治体制</p> <p>政体: 立憲共和制 元首: ラウレンティノ・コルティソ・コエン大統領 (Laurentino CORTIZO COHEN) 2019年7月就任、任期5年 議会: 一院制(任期5年: 計71議席) 与党: 民主革命党(PRD)[35]、モリレナ党[5] 野党: 民主変革党(CD)[18]、パナメニスタ党[8]、その他[5] 主要閣僚: 副大統領(兼大統領府長官) ホセ・ガブリエル・カリソ・ハエン (José Gabriel CARRIZO JAÉN) 外相 エリカ・モイネス(Erika MOUYNES) 経済財務相 エクトル・アレクサンダー(Héctor ALEXANDER) 公共事業相 ラファエル・ホセ・サボンヘ・ビラール (Rafael José SABONGE VILAR) 農業開発相 アウグスト・バルデラマ(Augusto VALDERRAMA) 労働開発相 ドリス・サパタ・アセベド(Doris ZAPATA ACEVEDO) 貿易産業相 ラモン・マルティネス(Ramón MARTÍNEZ) 社会開発相 マリア・イネス・カスティージョ(María INÉS CASTILLO) 環境相 ミルシアデス・コンセプション(Milciades CONCEPCIÓN) 運河担当相 アリスティデス・ロヨ(Aristides ROYO)</p> <p>出所: パナマ政府ウェブサイト</p>	<p>パナマの主要経済指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 実質GDP成長率(%)</td> <td>5.0</td> <td>5.6</td> <td>3.6</td> <td>3.0*</td> <td>△17.9*</td> </tr> <tr> <td>2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)</td> <td>52.0</td> <td>51.0</td> <td>51.3</td> <td>51.5</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>3. 政府最終消費支出(〃)</td> <td>22.1</td> <td>22.2</td> <td>23.0</td> <td>22.1</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>4. 輸出(財・サービス)(〃)</td> <td>42.0</td> <td>41.8</td> <td>42.5</td> <td>39.7</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>5. 輸入(財・サービス)(〃)</td> <td>45.4</td> <td>45.9</td> <td>46.8</td> <td>43.5</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>6. 消費者物価上昇率(%)</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>△0.4</td> <td>△1.6</td> </tr> <tr> <td>7. 失業率(%)</td> <td>5.5</td> <td>6.1</td> <td>6.0</td> <td>7.1</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td>8. 政府財政収支(対GDP比、%)</td> <td>△3.8</td> <td>△3.1</td> <td>△2.8</td> <td>△3.8</td> <td>△9.2</td> </tr> <tr> <td>9. 対外公的債務(〃)</td> <td>29.2</td> <td>29.6</td> <td>31.7</td> <td>36.3</td> <td>56.3</td> </tr> <tr> <td>10. 輸出(FOB、100万ドル)</td> <td>635</td> <td>660</td> <td>670</td> <td>1,504</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>11. 輸入(CIF、100万ドル)</td> <td>11,693</td> <td>12,720</td> <td>13,232</td> <td>12,836</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>12. 経常収支(100万ドル)</td> <td>△4,505</td> <td>△3,682</td> <td>△4,967</td> <td>△3,333</td> <td>1,233</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所: INEC(1、6、7、10~12)、世界銀行(4、5)、CEIC(2)、IMF(3)、中米通貨審議会(8、9) (* = 推定値)</p>		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	1. 実質GDP成長率(%)	5.0	5.6	3.6	3.0*	△17.9*	2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)	52.0	51.0	51.3	51.5	n.a.	3. 政府最終消費支出(〃)	22.1	22.2	23.0	22.1	28.6	4. 輸出(財・サービス)(〃)	42.0	41.8	42.5	39.7	n.a.	5. 輸入(財・サービス)(〃)	45.4	45.9	46.8	43.5	n.a.	6. 消費者物価上昇率(%)	0.7	0.9	0.8	△0.4	△1.6	7. 失業率(%)	5.5	6.1	6.0	7.1	18.5	8. 政府財政収支(対GDP比、%)	△3.8	△3.1	△2.8	△3.8	△9.2	9. 対外公的債務(〃)	29.2	29.6	31.7	36.3	56.3	10. 輸出(FOB、100万ドル)	635	660	670	1,504	n.a.	11. 輸入(CIF、100万ドル)	11,693	12,720	13,232	12,836	n.a.	12. 経常収支(100万ドル)	△4,505	△3,682	△4,967	△3,333	1,233	<p>対日貿易の主要品目: 2019年 日本の輸出: 客船、遊覧船、フェリーボート、貨物船等船舶類、ブルドーザー等、乗用自動車、石油及び歴青油等(原油を除く。)、ゴム製の空気タイヤ(新品のものに限る。)</p> <p>日本の輸入: 客船、遊覧船、フェリーボート、貨物船等船舶類、再輸入品、貴金属又は貴金属を張った金属のくず及び貴金属の回収に使用し貴金属又はその化合物を含有するその他のくず、その他の植物性油脂及びその分別物、冷凍魚</p> <p>出所: GTA(元データは財務省貿易統計)よりジェットロ作成</p> <p>要人往来: (往) 2018年 秋元司国土交通副大臣、藪浦健太郎総理大臣補佐官、梁和生国土交通大臣政務官、佐藤正久外務副大臣 2019年 阿達雅志国土交通大臣政務官、西村明宏特派大使(大統領就任式)、衆議院公式派遣団(赤松衆議院副議長他) 2020年 青木一彦国土交通副大臣</p> <p>(来) 2017年 バラカット海事庁長官、パレーラ日パナマ友好議員連盟会長、サイン・マロ副大統領兼外相(外務省賓客) 2018年 バラカット海事庁長官、キハーノ運河庁長官、チンチージャ経済財務大臣、ナバーロ外務次官 2019年 サイン・マロ副大統領兼外相、パレーラ大統領(実務訪問賓客、ロイ運河担当相同行)、コルティソ大統領(即位の礼)</p> <p>出所: 日本外務省ウェブサイト</p> <p>日系企業進出状況: 企業数: 45社(2019年10月、「日本人が海外で興した会社」除く) 出所: 外務省「海外進出日系企業拠点数調査(令和元年10月1日現在)」</p> <p>在留邦人数: 331人(2020年10月) 出所: 外務省「海外在留邦人数調査統計(令和3年版)」</p> <p>在日パナマ人: 91人(2020年6月時点) 出所: 日本国法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」</p>			
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年																																																																														
1. 実質GDP成長率(%)	5.0	5.6	3.6	3.0*	△17.9*																																																																														
2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)	52.0	51.0	51.3	51.5	n.a.																																																																														
3. 政府最終消費支出(〃)	22.1	22.2	23.0	22.1	28.6																																																																														
4. 輸出(財・サービス)(〃)	42.0	41.8	42.5	39.7	n.a.																																																																														
5. 輸入(財・サービス)(〃)	45.4	45.9	46.8	43.5	n.a.																																																																														
6. 消費者物価上昇率(%)	0.7	0.9	0.8	△0.4	△1.6																																																																														
7. 失業率(%)	5.5	6.1	6.0	7.1	18.5																																																																														
8. 政府財政収支(対GDP比、%)	△3.8	△3.1	△2.8	△3.8	△9.2																																																																														
9. 対外公的債務(〃)	29.2	29.6	31.7	36.3	56.3																																																																														
10. 輸出(FOB、100万ドル)	635	660	670	1,504	n.a.																																																																														
11. 輸入(CIF、100万ドル)	11,693	12,720	13,232	12,836	n.a.																																																																														
12. 経常収支(100万ドル)	△4,505	△3,682	△4,967	△3,333	1,233																																																																														